



藤樹先生の教えより

令和4年度 入園のご案内

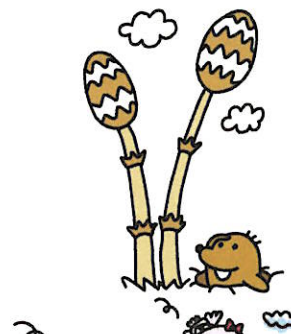


学校法人 藤波学園
藤 波 こ ど も 園

安曇川町下小川120番1

Tel 0740-32-0329

Fax 0740-32-8005



藤波こども園は？



平成27年度より、子ども子育て新制度が実施され、学校法人藤波学園
藤波こども園は、新制度の認定こども園としてスタートしました。

認定こども園とは、教育・保育を一体的に行う施設で、幼稚園と保育所の両方の良さを合わせ持つところ。3～5歳児では保護者が働いている、いないに関わらず利用でき、保護者の就労状況が変化した場合でも、通い慣れた園を継続して利用できます。

藤波こども園は、昭和32年に学校法人藤波学園 藤波幼稚園として認可を受け、長年地域の幼児教育を担ってきました。幼稚園は、「幼児を保育し、適切な環境を与えて、その心身の発達を助長すること」とされています。そのために、望ましい園舎・園庭・遊具等の施設があり、幼児教育の専門職である教師がいて、適切な環境の中で集団生活をしながら、遊びを通して心と体の両面から人間形成を図ってきました。

設立当初より、郷土の先哲 中江藤樹先生の徳風を慕い、
仏様の御教えをもとに、幼児教育を推進しています。

近年、「地域に保育園を！」との要望も強くなり、平成25年度より藤波こども園（認定こども園）となって、幼稚園児（3～5歳児）と保育園児（0～5歳児）を預かって、保育・教育に取り組んできました。



花祭り

新制度による藤波こども園では、乳幼児（0～5歳児）の健全な心身の発達を図るために、保育・教育の専門職である保育教諭が家庭と連携して、子どもの状況や発達過程を熟知し、望ましい環境の中で一貫した保育・教育及び養護を行っています。

また、こども園のもう一つの機能として地域における子育て支援を実施しています。子育て家庭の皆さんに、子育てについての相談活動や親子のつどいの場（さくらんぼ広場）を提供し、多くの親子の皆さんが利用されたいへん喜んでいただいています。

藤波こども園の特徴は？

現在、園児は、5歳児22名・4歳児23名・3歳児20名・2歳児12名・1歳児6名、0歳児2名、合計85名です。ほどよい規模の園なので、全教職員が一人ひとりの子どもをよく知り、その子に応じた声かけなどの対応ができ、密に関わりをもつことができます。

また、初めて集団に入る子どもたちが安心して楽しく生活できるように、3～5歳児は混合保育（温かく居心地のよい家庭のような雰囲気）で保育・教育しています。年齢の異なる子どもたちとの交流（生活の場）を通して、子ども同士で育ち合ううれしい姿が見られています。

給食も充実しています。自園給食なのでおいしくて子どもたちは毎日楽しみにしています。現在はコロナ感染拡大のため3・4歳児はランチルームで、5歳児は、遊戯場で給食を食べています。早く3～5歳児全員で給食が食べられるようになることを願っています。

0・1・2歳児は、育児環境の整った部屋で少ない人数で、子どもの発達にあわせた育児支援をしています。

どんな子に育ってほしいの？(教育目標)

まず、一人ひとりの子どもの自由に動く体をつくりながら、先生やお兄さん、お姉さん、友だちと一緒にいろいろな遊びを経験していきます。いろいろな活動を大きい子の姿から学び、意欲的に体験していく中で、自然とお互いを認め合い、支え合いながら、社会性を育て、楽しい中にも集団のルールを学びながら、自分の心と身体をコントロールできる子どもを育てたいと考えています。

たくましいからだ やさしいところ がんばるちから

を教育目標に掲げ、明日を担う子どもたちの保育・教育に努めています。表紙の

「いつもにこにこ やさしいことば みんななかよし ふじなみの子」は、中江藤樹先生の「五事(貌・言・視・聴・思)を正す」を子どもたちにもわかるようにやさしいことばで表現したものです。



めざす子ども像

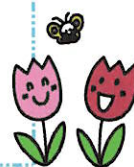
- ・基本的生活習慣を身につけ、自分のことは自分でする子
- ・楽しく力いっぱい体を動かして遊ぶ子
- ・相手の思いに気づき、互いを認め合える子
- ・生命や物を大切にする子
- ・いろいろなことに興味や関心をもち、自分から関わり、思いを表現しようとする子
- ・話をしっかり聞き、自分の思いが出せる子



基本姿勢

一人ひとりの人権を大切にする保育をすすめ、家庭や地域と連携しながら、0歳からの一貫した保育・教育に取り組んでいきます。

- ・自分が大切にされているという実感がもてる保育・教育
- ・生活や遊びに見通しがもてる保育・教育
- ・子ども自身が意欲をもって取り組もうと思える保育・教育
- ・なかまとつながる保育・教育
- ・藤樹先生や仏様の教えを心がけ、伝える保育・教育



どんな保育をしているの？

乳児保育

大人との信頼関係をもとに、ていねいな育児に努めるために、年齢にふさわしいクラス人数に配慮しています。

育児はいつも同じ関わりをしていけるように、同じ保育士がお世話するようにしていきます。



幼児(混合保育)

家庭的な雰囲気の中で人との関わりを大切にし、それぞれの違いを認めながら、集団の中で自分が大切な存在だと感じることをねらい、「異年齢集団」のホームにしています。

また、それぞれの発達段階や興味にあった遊びを自ら主体的に取り組めるようにコーナー活動などで保障しています。



幼児(年齢の活動)

なかまづくりや学力の基礎を意識した活動のため、午後からの一定時間をホームから離れ、クラスの年齢活動をしています。

子どもにとって第二の家庭であってほしいという願いから、混合保育時の集団を『ホーム』(ぞうホーム・きりんホーム・ぱんだホーム)とよんでいます。

横年齢の集団は、月組(5歳児)・星組(4歳児)・花組(3歳児)・雪組(2歳児)・桃組(0・1歳児)とよびます。

からだづくり

食育

食べることは、生きることの源。その大切な“食”を通して子どもの「生きる力」を育みたいと願っています。菜園での栽培活動、収穫物によるクッキング等、よろこびを伴った実体験の数々が子どもたちを生き生きとたくましく育てていくと考えています。

また、親子クッキングや食育ミニ講座等、家庭と両輪で“食”を考える取り組みも大切にしています。

令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため取り組みを見合わせています。



はだし

1年中通してはだしで過ごしています。

幼児期は土踏まずの形成にたいへん重要な時期で、この年齢で足のアーチ及び骨格の形成がほぼ決まります。はだしでかかとからつま先までしっかり使って歩くことによって、頭脳への衝撃を緩和する土踏まずの形成がはかられ、またアキレス腱周囲の筋肉の縮みを予防し、血液の循環をよくし、内臓を鍛えます。

さんぽ

健康の基本は歩くことから始まります。小さい子は、大きい子に手をつないでもらい、下小川の公園や、藤樹神社・陽明園などへ出かけます。

途中で道端に咲いている野の花を摘んだり、虫を捕まえたりして、自然に親しみながら歩き、公園では集団に応じた遊びを楽しみます。



砂遊び

人間の生活の基本は自然の中にあり、なかでも子どもは「土・砂」と「水」と「太陽」で育つといえます。

土や砂に直接触れる感触を大切に、手足の感覚に磨きをかけ、確かな身体を通しての体験をさせていきます。



また、土や砂は可変素材で子どもの力でいろいろな形に変化させることができ、水を加えることでまた違ったものに変えられ、子どもたちの創造力に十分応えてくれます。

あたたかな「太陽」のもとで「土・砂」と「水」を使って、のびのびと思いきり遊べる子どもを育てていきたいと取り組んでいます。



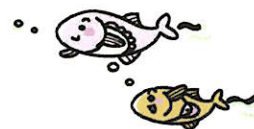
自然体験活動

生きる力を育み、自然や人とのふれあいを大切にした取り組みとして、5歳児が「くつきの森」に出かけ、森の中で「さとやまさん」（自然活動指導員）や先生、友だちと一緒に、楽しみを発見して、思いを出しながら楽しく遊んでいます。

「また行きたい！」「次はこんなことしよう！」という思いをもって、季節ごとに違う朽木の豊かな自然の中で、自分の力で判断し、行動する力が育ってほしいと願っています。



その他に、運動遊び（リーベのコーチ0・1・2歳児、3歳児、4歳児、5歳児対象）、リトミック・リレー・鉄棒・登り棒・水遊び・なわとび・歌・合奏などにも取り組んでいます。





積木



モザイク積木

楽しい遊びで育てるころ

自由遊び(自らすすんで遊ぶ)

ままごと・積木・汽車ごっこ・パズル・カードゲーム等、各年齢に応じたいろいろなおもちゃを用意しています。

好きな遊びに熱中して遊びきった満足感を体験してほしいと思っています。指先を使った細かい遊びは、楽しみながらその発達を促すと共に、ことばも豊富になっていきます。お店屋さんごっこやカードゲーム等では、友だちと関わって遊び、その楽しさやルールの大切さを自然と学んでいきます。



ままごと



制作



れんげ畑で



お話やごっこ遊び

よい絵本や紙芝居をたくさん備えて、毎週貸し出しもしています。(5歳児は本の森探検で月に1回、図書館で絵本を借ります。)

毎日、お話の読み聞かせをしていくと、お話がしっかり聞けるようになり、想像の世界に浸りることができるようになっていきます。言葉も豊かになります。

さらに、おはなしを発展させて、みんなでごっこ遊びや劇につなげて楽しんでいます。

わらべうた遊び

わらべうたは、心のおっぱい。特に伝承わらべうたには、昔の人の子育ての知恵が受け継がれ、人育てとしての深い意味が込められています。子どもと1対1で向き合って楽しく遊びながら、人としての大切な気持ち起こしを体感させていきます。



なかまづくり

個々の子どもたちが思いを受け止めてもらい、安心して過ごしながら、さまざまな遊びを通して他者に気づき、友だちと一緒に楽しい、友だちと一緒に遊びたいと感じていくようです。集団生活の中での大切なルールの必要性を理解したり、相手に対しての思いやり、励まし等の気持ちも育っていきます。年長になれば、優しさを発揮し、小さい子の面倒をみる力もついてきます。

こういった育ちを援助していくために環境作りに配慮し、日々の子どもたちの姿をていねいに見守り、一人ひとりの育ちを保障していきたいと考えています。



ざりがにつり



お楽しみ
保育の
相談

春

入園式
花祭り
(保育参観)
春の遠足
野菜作り
(人形劇)

年間主要行事

夏

水遊び
(老人ホーム訪問)
七夕
(クッキング)
お楽しみ保育
(夏祭り)

秋

(藤樹書院参拝)
運動会
バス遠足
いもほり
野菜の収穫
(クッキング)
(人形劇)
発表会

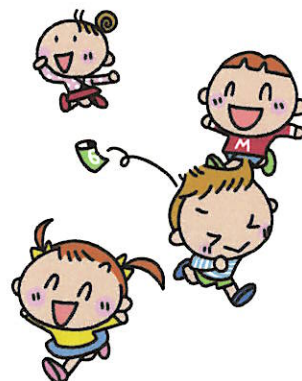
冬

(おもちつき)
(クッキング)
(お年寄りとの交流会)
節分
(ミニコンサート)
ひなまつり
お別れ遠足
卒園式

保育時間や通園方法は？

保育時間

- 1号(幼稚園) 年間を通して8:30から15:00まで
(半日保育の日は11:00まで)
- 2・3号(保育園) 年間を通して
短時間は8:30から16:30まで
標準時間は7:30から18:30まで



日 課

1日保育のおよその日課です。

		7:30	8:30	9:00	10:00	11:30	12:30	13:00	14:00	16:30	17:00	18:30	19:00
3号	0歳児	早保	朝育	順次登園	個々の発達リズムに合わせて食事(授乳) ・睡眠・遊びの日課を決めます。					保育短時間降園	保育標準時間 順次降園	延長保育	
	1・2歳児				室内遊び 及び戸外活動	給食	午睡	おやつ・自由遊び					
2号	3・4・5歳児				室内遊び 及び戸外活動	給食	3歳児 午睡	おやつ・ 自由遊び					
1号		4・5歳児 クラス活動	おやつ	降園・預かり保育									
			早朝保育	順次登園									
		8:00 8:30				15:00					17:30		

1号(幼稚園) 土曜日・日曜日・祝日は原則として休園ですが、運動会や花祭り(振替休日あり)・夏祭り等の行事が行われることがあります。

2・3号(保育園) 土曜日は、希望保育があります。

(おやつ代¥100)

また、運動会や花祭り・夏祭り等の行事が行われることがあります。

日曜日・祝日は休園です。



通 園

通園に関する学区制はありません。どの地域からでも入園できます。

(R3年度 園児居住地 安曇川・新旭・高島)

バス(3・4・5歳児)と送り迎えによる通園があります。

送り迎え

1号(幼稚園) 登園 8:30～9:00までに(8:00～8:30は早朝保育 ¥100)

降園 15:00(半日保育日は11:00)

(15:00～17:30は一時預かり保育 30分 ¥100)

(半日保育日11:00～12:30は一時預かり保育)

2・3号(保育園・保育短時間)

登園 8:30～9:00までに(8:00～8:30は早朝保育 ¥100)

降園 16:30までに(16:30～19:00は延長保育30分¥100)

(希望保育日は～18:30まで)

2・3号(保育園・保育標準時間)

登園 7:30～9:00までに(7:30～8:30は早朝保育)

降園 17:00～18:30までに(18:30～19:00は延長保育¥100)

(希望保育日は延長保育なし)

バス通園(3・4・5歳児)の運行時間(R3は1号のみ))

登園 8:30～9:10

降園 15:00～16:10(半日保育日は11:00～12:10)

バス通園コース(R3年度)

川島→北船木→南船木→藤江→下小川

リバーサイド→二ツ家→田中→野田北→中央→上小川

*利用園児の居住地により、経路や順番を変更することがあります。



服装や昼食は？

服 装

できるだけ子どもたちが動きやすい服を、また安価で洗濯の利くものをという思いから、園指定は、



かばん(リュックタイプ)
体操服上下・体操帽

だけとなっています。



昼 食

全員給食です。

地元でとれた食材をできるだけ使い、手作りの自園給食を実施しています。

各年齢に必要な栄養やエネルギーを計算して給食を提供します。

0・1・2歳児は、保育室で食事をし、3・4・5歳児は、ランチルームでバイキング形式、ホームのグループごとで楽しく食べています。

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在は適量を配膳しています。5歳児は遊戯場で並列で食べ、ランチルームは対面になるためアクリル板のパーテーションで飛沫防止しています。)



その他の取り組みは？

一時預かり(1号認定・幼稚園)

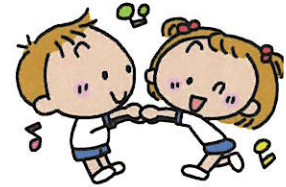
おうちの方に仕事や所用がある場合、お子さんを安心して園に預けられます。

時間は、午前8:00～8:30 15:00～17:30

(半日保育日は11:00～12:30)

夏・冬・春休み中も一時預かりをしています。

(8:00～17:30 *給食あり 1食¥250)



さくらんぼ広場

未就園児とおうちの方が、いっしょに遊びを楽しめるさくらんぼ広場(火・水・木曜日9:00～)を実施しています。

(運動遊び・自由遊び・小麦粉遊び・スライム・水遊び等)

子育てでお困りのことがありましたら相談もしていますので、お気軽に担当にお尋ねください。



費用はいくらぐらいかかるの？



国の幼児教育・保育の無償化と高島市の完全無償化により、保育料は全園児無償となります。

高島市の「保育所等入園のしおり」冊子のP14「幼児教育・保育の無償化について」をご覧ください。

その他、災害共済掛金・PTA会費・遠足代等 年間 約¥8,000

1号認定一時預かり代(利用者) 平日30分ごとに ¥100

夏・冬・春休み 午前¥400 15時まで¥650

給食代 1食 ¥250

2・3号認定(保育短時間) 16:30～ 30分ごとに ¥100

(短時間・標準時間) 延長保育代(18:30～19:00) ¥100

希望保育(土曜保育を含む) おやつ代 ¥100



募集については？

募集人数

1号認定(幼稚園3・4・5歳児)

- 5歳児 若干名 (平成28年4月2日～29年4月1日生まれ)
4歳児 若干名 (平成29年4月2日～30年4月1日生まれ)
3歳児 10名程 (平成30年4月2日～31年4月1日生まれ)

2号認定(保育園3・4・5歳児)

- 5歳児 } (平成28年4月2日～29年4月1日生まれ)
4歳児 } 若干名 (平成29年4月2日～30年4月1日生まれ)
3歳児 } (平成30年4月2日～31年4月1日生まれ)

3号認定(保育園0・1・2歳児)

- 2歳児 6名程 (平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれ)
1歳児 4名 (令和2年4月2日～令和2年4月1日生まれ)
0歳児 2名 (令和3年4月2日～令和4年10月1日生まれ)

入園申し込み要領

★ 1号認定(幼稚園)

受付期間 **令和3年10月14日(木)～11月4日(木)**
9:00～16:00 土・日・祝日を除く

提出物

認定申請書・利用申込書 **必要事項をご記入の上、当園までお申し込み下さい。**

★ 2・3号認定(保育園)

受付期間

10月14日(金)他 9:00～16:00 市役所本庁舎(新館3階)にて受付

提出物

市の「保育所等入園のしおり」により必要な書類を揃えてお申し込みください。

* ホームページ<http://www.fujinami-ci.sakura.ne.jp/>もご覧ください。

* 令和4年2月 入園準備説明会・体験入園を予定しています。

